

元気アップ 主体会

2017. 11 Vol.43

小山田記念温泉病院 回復期リハビリテーション病棟 リフォームしました



個室



二人床室



多床室



もくじ

小山田記念温泉病院 回復期リハビリ テーション病棟リフォームしました …1	
特集 回復期リハビリテーション 病棟の増床を経て …2	
40thサマーセミナー …3	
南国の木パイヤ …3	
KIDSデイサービス …4	

健康への窓 …4	
教育相談が始まりました！ …5	
新任Dr紹介 …5	
施設行事 …6~7	
部署紹介 みえ川村老健通所リハビリテーション …8	
元気アップコーナー・編集後記 …8	

回復期リハビリテーション病棟の増床を経て

小山田記念温泉病院 回復期リハビリテーション病棟

小山田記念温泉病院では、今年6月1日より新館5階の5B病棟が、従来の本館5A病棟に続き、35床の回復期リハビリテーション病棟となりました。

当病棟では、さまざまな医療専門職（医師・看護師・セラピスト・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・介護職）が入院時から担当者チームを結成します。そして家庭や社会への復帰を目的とした集中リハビリが行えるようにリハビリプログラムを作成し、各専門職が連携をとり、退院後の生活を見据えて訓練を行います。

入院生活においては、患者様の病気の管理を基本として、日常的な食事や歩行、排せつ、入浴などの動作を改善するため、起床時から就寝時まで、夜間の排せつの補助も含めて24時間体制で看護・介護を行っています。その他、温泉浴や個別浴も利用していただき、レクリエーション・体操、その他の余暇活動を通して心身共に回復できるような暖かい雰囲気作りを心がけています。

また、様々な職種で患者様や御家族の要望を伺いながら、定期的に回復状況や今後の方針についての説明会を開催し、御自宅訪問等を行うなど、退院支援に努めています。

今後も5A・B病棟共に、患者様と御家族がより安心、満足して頂けるリハビリや入院生活、退院支援が出来るようにスタッフが一丸となって努力してまいります。



病棟内自主訓練



食前体操

40th サマーセミナー

Summer Seminar

2017. 7. 8 四日市市文化会館 第1ホール

プログラム

14:00～14:05	開会の挨拶	社会福祉法人青山里会 理事長 川村 陽一
14:05～14:30	「平成28年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査に参加して」	小山田記念温泉病院 医療相談室 岡 あゆみ
14:30～15:00	「2025年問題と地域包括ケアの深化から私たちの事業課題を考える」	社会福祉法人青山里会 常務理事 西元 幸雄
15:00～15:30	「地域医療構想と主体会の診療体制」	小山田記念温泉病院 院長 浜口 均
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:45	特別講演 座長 主体会病院 副院長 川村 豪伸 『ロコモティブシンドロームと骨粗鬆症について』 三重大学大学院医学系研究科 運動器外科・腫瘍集学治療学(整形外科) 教授 湊藤 啓広 先生	
16:45～16:55	総括	医療法人社団主体会 理事長 川村 直人
16:55～17:00	閉会の挨拶	小山田記念温泉病院 副院長 村嶋 正幸



小山田記念温泉病院のアトリウムでは、黄色のハイビスカスが咲き、パパイアの木が次々と実を膨らませています。

春先に黄色く熟した実を職員食堂でデザートとしていただきました。ほんのり甘く南国の香りでした。写真のとおり一本の木に数個、日々大きくなりつつあります。収穫してもすぐ小さな実が付きどんどん大きくなって、黄色く色づきます。大きくなりすぎ落ちこちないよう施設課の人が網袋を付けます。しおれた葉っぱもちゃんと取り払ってあります。

パパイアの木は施設課の人に世話されアトリウムで元気に過ごしています。そして、私は熟した実をいただくのを楽しみにしている毎日です。

(小山田記念温泉病院 看護部長 中川貴美子)



主体会

KIDS デイサービス

☆児童発達支援(月～土曜日)

8:30～13:00

☆放課後等デイサービス

平日 14:00～17:00

土曜 8:30～13:00

長期休暇 8:30～17:00

【問い合わせ】

主体会KIDSデイサービス きまた
電話059-354-1771(内線5803)

主体会病院において障害児通所支援(児童発達支援・放課後等デイサービス)を実施する【主体会KIDSデイサービス】を2017年9月にオープンしました。

0歳～6歳までの未就学児(児童発達支援)、7歳から18歳までの就学児(放課後等デイサービス)を対象としています。児童発達支援は、自ら移動できる前のお子さんと自発的に移動できるお子さんとにクラス分けをして個別や集団療育を行います。放課後等デイサービスでは、学校生活を意識した発達や学習を支援します。児童指導員・保育士・指導員・理学(作業)療法士が一丸となり、子どもたちを多角的な視点で支援させていただきます。



**背骨をリセットして、
美しい姿勢の自分を意識する
習慣をつけましょう。**

主体会病院 リハビリテーション科
小児リハビリテーション部門
医師 櫻井 實

人間が二本足で歩き、上肢で、いろいろな仕事ができるようになったのは、人類の祖先の努力のお陰ですが、文明が進歩し過ぎた現代社会では、運動不足の人が多く、背骨に異常な負担が懸かる姿勢が強要される場面が、職場や日常生活の中で極端に増えています。

不自然な姿勢を持続させると、背骨や椎間板に不均等な負担をもたらし、脊柱は硬化し、変形や老化を促します。

柔らかい首、柔らかい胸郭、柔らかい腰、強い脚力が保持できれば、毎日を若々しく新鮮な気持ちで、楽しく過ごすことができる筈です。

そのために、背骨をリフレッシュする体操を日課にすることが理想の姿ですが、あなたには、無理な注文かも知れません。しかし、毎日、黙ってあなたの荷重に耐えている「脊柱と背骨」の苦勞にも、時には、思いを馳せてみてください。後頭部の頭痛や肩が凝ったりするのは、脊柱が悲鳴を上げているサインです。

そこで、あなたの体力に応じ、随時、実行できる「背骨若返り体操」のメニューを各自で考えていただくことを提案いたします。

肩と上肢、肩甲骨を上下、左右、前後にゆっくりと運動させて、胸郭を柔らかくすれば、背骨だけではなく、心臓も肺も、そして腹部の内臓もリフレッシュできます。

えっ、提案者のワタクシの背骨はどうなっていますか？

そんなこと聞かないでください。実は、今やもう手遅れなのです。

教育相談が始まりました！

平成29年6月より、当院の小児リハビリに通院されているお子さんに対し、三重大学教育学部の荒川哲郎先生による教育相談を開始致しました。その内容としましては、お子さんの就学や進学、学校生活における困りごとに対して、お子さんや保護者の思いを聴いて、懇切丁寧にアドバイスを頂けます。相談された保護者の方からは、「相談できてとてもよかった。気持ちのモヤモヤがすっきりしました」「子どもに対する自分の関わり方を見直し、反省するきっかけとなりました」といったご感想を頂いております。お子さんの生活の中心となる学校生活をよりよい時間としていくために、荒川先生と協力してお子さんへの支援を進めていきたいと思っております。

小山田記念温泉病院 小児外来部門 高山絵美子



この度、教育相談の仕事をさせていただくことになりました荒川哲郎と申します。現在、三重大学の教育学部の特別支援教育講座で教員をしています。出身は九州の長崎で叔父さん、叔母さんをピカドン原爆で亡くしました。私の父親は生き延びて、私は幸運な生を頂いています。

病院へリハビリに来ていただいている子どもさんたちと保護者の方々と一緒に、将来の進路を考えていく話し合いを続けさせてもらっています。これまでの障がいのある人たちとの貴重な経験に基づいて考え、また人間としてどのように生きていくことが大切なことなのかを思考しながら進めていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。

小山田記念温泉病院 教育相談担当 荒川哲郎

新任 Dr 紹介

主体会病院 副院長
脳神経外科
市原 薫



平成29年4月より主体会病院脳神経外科に勤務させていただいております。平成1年8月より平成29年3月まで市立四日市病院に勤務していました。専門は脳神経外科で、長年脳神経外科疾患の手術的治療を中心に診療に携わってきましたが、平成15年以降は救急医療・災害医療にも係わるようになり、県内の消防職員特に救急救命士と共に講習会を開催するなど一緒に仕事をすることがありました。また災害現場に出ることはありませんでしたが、災害医療の専門家としてDMAT(Disaster Medical Assistant Team)の隊員の資格を持っていました。最後の年はリハビリテーション科の責任者も兼ねていました。

主体会病院では主に回復期リハビリテーション病棟に入院されている脳神経・脊髄疾患の患者さんの管理及び脳神経外科の外来診療を担当しています。急性期病院とは異なり落ち着いて診療はできますが、久しぶりに入院患者さんを担当することになり、臨床的な感覚を取り戻すのに少し時間がかかりそうです。担当している患者さんは思った以上に高齢者の方が多く、また認知症を伴っていること

もあり、どのように対応するのか戸惑いを感じていますが、多くの病院職員の皆様のご協力を頂き、なんとか診療を行っている状況です。本来の脳神経外科的治療はできませんが、後遺症などでリハビリテーションが必要な患者さんに対しては、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士・介護士・薬剤師・栄養士などの他職種と連携して十分に時間をかけて色々な方向からアプローチしています。

回復期病棟は地域医療計画の中でも重要な位置を占めており、今後も患者さんにとってより良い診療ができるよう、急性期病院だけでなく、介護施設等とも連携を深め、地域医療に貢献していきたいと考えています。

なお、外来診療につきましては、週2日(火曜日、木曜日)の診療ですが、急性期病院と連携しながら頭痛・脳卒中・頭部外傷・脊椎疾患など脳神経外科一般の疾患に対応させて頂くつもりです。どうぞ宜しくお願いいたします。

施設行事

みえ川村老健

第23回ときわ盆踊り大会 7月27日

利用者御家族様はじめ地域ボランティアさんのご協力、
ありがとうございました！



ゲストのこにゅうどう君との
握手に大人も子供も順番待ち

流しそうめん 8月行事



模擬店にて 食べて遊んで
「あ～楽しかった～」

コツを掴んで
だんだん上手に
すくえるように
なりました

コメダツアー 7月・8月



ケーキをガブリ～♪



甘いもの大～好き～♡

恒例行事の一つ、
コメダツアー。
皆さん、毎回楽しみに
されています!!
コーヒーの香り漂うゆったり
したひとときでした…



話も盛り上がります!!



ケーキもコーヒーも美味しかった～

みえの郷

七夕会 7月5日

めぐみの園幼稚園児の皆さんが来所され、入所者様と交流を深めました。



お出かけ会 9月26日

「でめでめ」へ
お出かけしました。



部署紹介

みえ川村老健 通所リハビリテーション

みえ川村老健の1階に通所リハビリテーションがあります。

対象者は、介護保険を認定してもらった方となります。要介護状態となった場合でも、可能な限り在宅生活において、持っている能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、看護師、介護福祉士、相談員、理学療法士、作業療法士等の職員が利用者様の個々の状態にあわせての関わりを行っております。また、リハビリでは、短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリを実施しており、介護度が軽度な方から重度な方まで、個別への対応を重視しています。屋外での活動ではリハビリを兼ねて、駅前の喫茶店、近くのコンビニでの買い物、花見、園芸を行ったり、グラウン



ドゴルフ、ボッチャなどのスポーツも積極的に行っております。



小山田記念温泉病院 患者サポート委員会の取り組み

当院の患者サポート委員会は、現在、看護師1名、理学療法士1名、社会福祉士3名、事務職員1名の6名で構成されています。

患者様、ご家族様からお寄せいただくご意見は、接遇に関するものが多く、当院職員の対応に対する厳しいご意見や、また感謝の言葉を頂くこともあります。

新たな取り組みとして、今年の6月より、患者様、ご家族様の思いを受け取る機会を増やすため、ご意見箱の周知と設置場所の見直しを行い、投書頂いたご意見とその回答を掲示板にて掲示することを始めました。

その結果、患者様、ご家族様だけでなく、職員も掲示板の前で立ち止まり、ご意見に目を通す姿が見られるようになりました。

これをきっかけに、小山田記念温泉病院が、より患者様に選んでいただける病院になるための取り組みに繋がっていくよう、患者サポート委員会一同、頑張っていきたいと思っています。

小山田記念温泉病院 患者サポート委員会 一同



編集後記



涼しい秋の季節がやってきました。

秋といえば、紅葉の季節です。鈴鹿山脈の主峰となる御在所岳の各所では、例年10月中旬頃から紅葉で染まり始めます。溪流沿いには大小の滝を彩るようにカエデやモミジが赤や橙に色づき、紅葉狩りを目当てに登山者で賑わっていることでしょう。山頂へは気軽にロープウェイで行くことも出来るので、秋を感じに行ってみるのもいいかもしれませんね。

(主体会病院 透析センター 臨床工学技士 阪田修平)